

安来市立伯太中学校だより

つながり、考え行動する伯中生

独立 協力 技術

学校教育目標「**自己を見つめ、他者と協働し、未来を拓く生徒の育成**」

令和6年4月22日号



4月8日の着任式の様子



新しい教科書を手にする二年生

新制服に身を包んだ
一年生



入学式受付担当メンバー
とマイケル先生



令和6年度がスタートしました

4月8日に5名のスタッフが着任し、令和6年度がスタートしました。

年度替わりというのは、環境の変化が起きやすいため、ストレスが溜まる人が一定数生じる時期です。始業式では、新学期の不安にどう対処したらよいかということについてまず話しました。

- 不安な気持ちは誰にでもあるもの、と認識すること
- 無理しない、自分のキャラを偽らない
- 不安な気持ちを一人で抱え込まない
- 自律神経が乱れないようにする

特に、睡眠、食事などの生活リズムを整え、自律神経が乱れないようにすることは本当に大切です。不安になったり、イライラしやすくなるような脳の状態にしないことです。

次に、今年度全校で大切にしていこうということについて確認しました（次ページにくわしく載せます）。

Keywords

- 【つながる】
- 【課題解決のために対話する】
- 【考え行動する】

新2・3年生の、昨年度1年間での成長は目ざましいものでした。

みなさんなら、誰もが安心して自分らしくいられ、つながり、学び合い、高め合うことのできる学校をつくっていけると信じています。

ともにチャレンジしていきましょう。



全校で大切にしていること

Keywords

【つながる】

【課題解決のために対話する】

【考え行動する】

1 「つながる」



ものごとに挑戦し、それぞれが力を高めていくためには、「失敗しても大丈夫」と思える環境である必要があります。

ちょっと失敗しただけで揚げ足をとられたり、いじりやからかいが生じたりするような雰囲気があると、安心できません。そんなことで盛りあがる関係というのは、表面的で、真の仲間ではありません。

互いのことを知り、気持ちに寄り添い、一緒に高みをめざすことのできる、つながりを伯太中の中にかくさんつくっていくことを大切にしたいと思います。



入学式翌日の1年生

2 「課題解決のために対話する」



伯太中の、誰もが幸せになるには、どうしたらよいか、といつも考え、対話してその状態をつくっていくということです。

人と対話して、よりよい状態をつくっていくというのは、時間がかかるし、たいへんです。

でも、安易に多数決やくじなどで、置き去りにする人をつくるのは、どうでしょうか。自分がその立場になったら、とても困ると思います。

いろいろな人と対話し、考えをつきあわせて、よりよい方法をさぐる労力をおしまないでほしいと思います。

3 「考え行動する」



自分で考え、決め、行動するという経験を積み重ねることで、問題解決力を高めることができます。

問題解決力が高まる、ということは、成長する、ということです。

人の真似をしてスマートに仕上げても、成長はしません。うまくできない部分があっても、自分で考えて行動にうつすことを大切にしたいと思えます。



始業式直後の3年生



R6の主なチャレンジ①

● ノーチャイム

昨年度はチャイムを2回（朝・昼）鳴らしていました。チャイムが鳴らない時間帯には、時計を見て行動することがよくできていました。

今年度は掛時計を増設し、ノーチャイムにします。

①自律の力を高める ②合理的配慮 ③職員の負担軽減を目的としています。

● 多様な学びへの対応

少人数授業（数学）の実施

今年度は全学年において数学の授業を担当できる教員が複数配置されていますので、クラスを2つに分けて行う「少人数授業」を実施します（学習内容に応じて、必要な時に行います）。

デジタル教材と紙媒体の問題集の併用

特に家庭学習において、個別のニーズに応じて教材を選べるよう、デジタル教材と紙媒体の問題集を選定しました。今年度のデジタル教材は「スマイルドリル」（1・2年生）と「Qubena（3年生）」です。





R6の主なチャレンジ②

● 生活ノート「新しい一日」の活用

今年度も、自分で自分の学びを調整する力をつけていくために、生活ノート（少し様式を変えました）を使って、毎日の家庭学習・今週の家庭学習の計画を立てて実行にうつしましょう。

ポイントは、**A何を（内容）、Bどのように（方法）Cどのくらい（量）**やるかを決めておくことです。

- (例) A「現在進行形」の確認と英作文
 B eboard で説明を聞く、例題を解く
 C 自学ノートに文を作って書く（1ページ）

● 朝の時間（8：25～8：35）の活用

- ① 読書
読書の習慣をつける、読書の質をあげる
- ② 集会
自治力（自ら考え行動し問題を解決する力）を高める、コミュニケーション力を高める
- ③ 英単語テスト
単語力を向上させることにより、英語を聞く・話す・読む・書く力の向上につなげる
- ④ ニュース記事
正しい書き言葉を知る、世の中のことを知る
読み取る力を上げる

科博クラファンの記事を読みました



家庭科担当教員 & スクールサポートスタッフと初対面

16日、各学級で火曜日（基本）に家庭科の指導に来てくださる 田中先生（湖北中）と、スクールサポートスタッフの 佐藤さんを紹介しました。新たな出会いを大切に…！



自転車は「車両」！

11日、1年生を対象として自転車教室を行いました。運転技術とマナーの向上に努め、安全に登下校してほしいと思います。

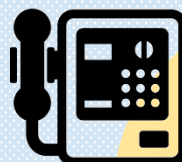
自転車は「車両」になります。**車道の左側を通行することが原則です。歩道を通ることになっている場合は、車道側を通行します。**



授業公開、PTA総会 学年懇談、部活動懇談

5月10日、13：45より授業公開を行います。学校運営方針説明・職員紹介と、PTA総会、学年懇談会、部活動懇談会も行います。

案内文書（別紙）をごらんいただき、ご出席いただきますようご案内申し上げます。



からの着信について

この番号は、
伯太中公衆電話の番号です。
折り返されても
取り次ぎできませんので、
よろしくお願いいたします。

今年度の入学式にあたり、寺田教育委員様、遠藤様（安田地区）より美しいお花をいただきました。
ありがとうございました。



令和6年度 安来市立伯太中学校

スクールビジョン

～日^カ出る中学校 教育の光は伯中から～

「つながり、考え行動する伯中生」

学校経営の基本方針

- 1 人権教育・道徳教育を基盤とした、人間性や社会性を高める教育活動を展開し、だれもが伸びる学校を育て、ともに問題解決できる、心理的安全性を高める環境づくりを進める
- 2 「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、主体的・対話的で深い学びに向けた教育の質の向上を図る。
- 3 学習指導要領、しまね教育魅力化ビジョン、安来市教育大綱等を踏まえ、本校の伝統を守りつつ、社会の変化や保護者・地域のニーズに応じ、学校・家庭・地域が連携して人材育成できる環境づくりを進める。
- 4 学校の組織的実践力を高めるとともに、よりよい学校運営に向けPDCAサイクルを活用する。

学校教育目標

校 訓

「自己を見つめ、他者と協働し、未来を拓く生徒の育成」
「独立 協力 技術」

めざす学校像

- 1 だれもが伸び、挑戦できる学校
- 2 だれもが学び、よりよく生きていける力が育つ学校
- 3 保護者・地域と目標を共有し、協働する学校

めざす生徒・教職員像

- 1 自分を尊重し、他者と協働できる生徒・教職員
- 2 自律し、学び続ける生徒・教職員
- 3 目的意識をもって粘り強く行動する生徒・教職員
- 4 生徒の自己決定を大切にしている教職員

育成する力

自己を調整する力

- ① 自己を理解する
- ② 感情や行動をコントロールする
- ③ 見通しをもち粘り強く取り組む
- ④ 内省し次につなげる

他者と協働する力

- ① 適切に援助を求める
- ② 他者の立場に立つて考える
- ③ 目的の合意を形成する
- ④ 対話し、課題を解決する

思考・判断・表現する力

- ① 言葉を学び、読み解く
- ② 筋道を立てて考える
- ③ 情報を集め、活用する
- ④ 自分の言葉でわかりやすく伝える

未来を拓く力

自分のよさや可能性を認識し
他者と協働しながら
さまざまな社会的変化を乗り越え
豊かな人生を切り拓き
持続可能な社会の創り手となる
人材の育成

自己決定の経験を積み、
自分で考えて行動する力
(＝自律する力)を備える

家庭や地域社会との
「連携」・「分担」による
人材育成、よりよい社会づくり

学校経営の重点

【人間性や社会性の向上】

- ・認め合い高め合う集団づくり
- ・自己決定の場の提供
- ・自己有用感を高める活動の推進
- ・自己調整力を高める指導の充実、環境整備
- ・人権教育、道徳教育の推進
- ・特別支援教育の推進

【思考力・判断力・表現力の向上】

- ・学習環境の整備、ユニバーサルデザイン化
- ・「朝の時間」の充実
- ・多様な指導・教材の提供
- ・協働的な学習の充実
- ・課題探究型学習の充実
- ・体系的な学習の充実

【心身の健康・体力の向上】

- ・基本的な生活習慣の確立に向けた指導の充実
- ・体力の向上につながる活動の推進
- ・保健指導、健康相談の充実
- ・安全教育の充実
- ・生徒理解、教育相談の充実

【地域とともにある学校づくり】

- ・こ・中高連携教育の推進
- ・地域の教育資源を活用した学びの推進
- ・教育活動の横断的な情報発信
- ・家庭・地域と連携して人材育成できる環境づくり
- ・学校運営協議会設置の準備